



みやのめ

文責：校長 三浦 建成

【めぎす子ども】
明るく 親切な子ども
進んで 学習する子ども
じょうぶで たくましい子ども

5年野外活動 in 山田 ～特集号～

「自然を楽しみ、協力して野外活動体験学習を成功させよう」をテーマに、5年生が8月30日～31日の2日間、野外活動に取り組みました。今年度は実施時期と場所を変え、夏休みを挟んで準備をしたり、新たな体験活動を取り入れたりしながら、5年生最大のチャレンジに挑みました。

場所は、山田町にある陸中海岸青少年の家。船越湾を望む高台にあり、東日本大震災津波の発災直後には、山田・大槌の2町の小学校が校舎として使用した施設です。

到着してすぐの活動は、鯨山（くじらやま）登山。登山に慣れていない子が多い中、登り始めから急登が続く難コースを進みます。それでも子どもたちは、決められた隊列とペースを守り、一歩ずつ山頂を目指しました。途中で息が切れたり、足が重たくなったりして進めない友達もいましたが、声をかけ励まし合い、時に背中を押してあげながら、全員一体となって進みました。一つめの頂上（名称「390Mピーク」）を越え、滑りやすい急坂をロープをつかみ必死に下り切りました。時間と天候の関係で、鯨山頂上までは行けませんでした。楽しく昼食をとり、往路と違った川沿いのコースを戻り、時間どおり下山できました。初日から、自然相手に「思い通りにならない」状況と向き合った子どもたちでしたが、苦しい登山を通して仲間と励まし合い、助け合って達成しようとする姿は頼もしいものでした。

その後も、テーマ「協力」を意識した野外炊事とキャンプファイヤー、2日目「自然を楽しむ」を体現したような沢登りなど、普段できない体験活動を通して5年生の成長を感じた2日間でした。



けっこうな急登が続く前半

「あと何km～？」「まだ先だねー」



苦しそうな仲間を励まし助ける5年生

列を守り一歩一歩

下山後、青く輝く船越湾がお出迎え



洗い物も皆で力を合わせて



火が通ったかな～



岩の上を流れる水の上で寝ています!



鯨山神社の火の神登場!



自然に身を委ね、沢の生き物にもたくさん出会いました!



いい湯…沢水だな～♪



5年生は今、野外活動のまとめに取り組んでいます。規律や協力、友情や責任など野活を通して意識し学んできたことを、これからの学校生活に生かすことを期待しています。

ご協力ありがとうございました!

1日目班長会での反省で、自分たちは「班行動」と「時間を守る」ことが課題と気づき、2日目は意識を変えて取り組みました。その結果、厳しくチェックされる退所点検も見事クリアー、班でそろって食堂に移動することも上手くなり、沢遊びの自由時間もきちんと守るなど、1日目と比べ意識の持ち方が高まり、行動も早くなりました。

